Niigata Wakamono Zadankai
NIIGATA WAKAMONO ZADANKAI
Vol.01
NIIGATA YOUTH PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

にいがた若者座談会のお知らせ

にいがた若者座談会とは?

新潟出身で首都圏在住の若者達が
「こんな新潟なら帰りたい」を本音で語り合う会合です。

ものごとの理解に、現場の意見はとても重要です。レポートや報道など、専門家による整理された情報からはわからないこともたくさんあります。『にいがた若者座談会』は、現在新潟を離れ首都圏で暮らしている20代から30代の若者たちの「リアルな声」を活かすための会合です。彼らとともに、新潟県の職員や県内各自治体の職員なども交え、新潟の魅力や課題について本音で語り合い、魅力をさらに高める方法や課題の解決方法について議論します。

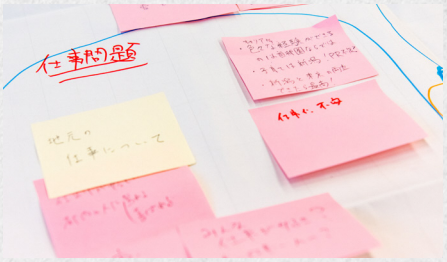
新潟県　新潟県県民生活・環境部　新潟暮らし推進課

にいがた若者座談会

新潟出身で首都圏在住の若者たちが
「こんな新潟なら帰りたい」を語り合う『にいがた若者座談会』の
キックオフイベントを、今年8月に東京都中央区で開催しました。

グループワークではUターンの課題を
付せんに書き上げました。

最初に新潟県職員・五十嵐からイベントの趣旨について説明



全ての班から「仕事」がUターンの課題に挙がりました

Uターン※1について本音で議論

今回のテーマは「新潟へのUターン」です。イベントには、首都圏在住で新潟出身の20代から30代の方々、新潟県内市町村のU・Iターン担当職員、そして新潟県のU・Iターンコンシェルジュ※2など、総勢20名以上が参加し、約3時間の間、活発な議論を繰り広げました。

まずは、新潟県　新潟暮らし推進課　U・Iターン促進班の職員が、新潟県の人口減少傾向や影響、その対策について説明しました。また、Uターン促進策の重要性を訴え、「きょうは皆様の本音をお聞きしたいです」と狙いについて述べました。

続いて、ファシリテーターを務める株式会社マチカラの飯田　拓哉さんが登壇。「全3回のイベントを通じて、皆さんと一緒に課題のタネを見つけ、解決方法という花を咲かせたいです」と意気込みを語りました。

グループワークは、3班に分かれた参加者たちの自己紹介からスタート。新潟生まれや新潟育ち、現在新潟で働いているなど、「新潟」という共通点のある者同士ですぐに打ち解けました。場の空気が和んだ後、それぞれの立場から考えるUターンに関する新潟の課題を話し合いました。

「仕事への不安」はUターンの障壁

参加者が挙げた主な課題の一つは「仕事への不安」です。「果たして新潟に戻って働く場所はあるのだろうか?」「著しく収入が減少してしまうのではないか?」「自分がやりたいと思っている仕事が新潟にはないのではないか?」などの不安は、Uターンに対する大きな障壁になっているようです。一方で、「働く場があることをアピールしたり、行政が起業できる環境や施策を整えれば、不安も和らげられるのではないか」という意見も提示されました。

Uターンの条件は一人一人異なる

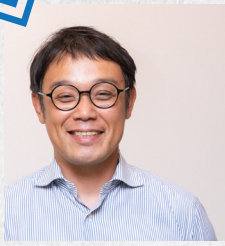
そのほかにも「家族やパートナーの理解の獲得」や「新潟に戻りたいと思わせる情報の発信不足」など、多くの課題が挙げられました。今回の議論で、Uターンの条件は一人一人異なることが改めて浮き彫りになりました。ヒアリングによって何をクリアできれば、首都圏に住む新潟出身の若者が地元に戻ってくるのかを把握し、その解決方法を提示できれば、前向きな検討につなげられそうです。

和気あいあいとした雰囲気のグループワーク

「その気持ち、分かります!」が飛び交いました

ファシリテーターを務めたマチカラの飯田拓哉さん

若者座談会レビュー



新潟県県民生活・環境部
新潟暮らし推進課
U・Iターン促進班
政策企画員　五十嵐 暁之

ファシリテーター
株式会社マチカラ
代表取締役CEO
飯田 拓哉さん

にいがた若者座談会
コアメンバー
小黒 恵太朗さん
長岡市（旧和島村）出身

燕市 企画財政部
地域振興課
交流推進係
加藤 成美さん

貴重なリアルの声

イベントの終了後、参加していただいた首都圏在住者、新潟県内市町村のU・Iターン担当職員、新潟県職員の中から1名ずつ、そしてファシリテーターの飯田さんに感想を伺いました。

ー首都圏在住の小黒さんは、今回なぜ参加したのですか?

いますぐUターンをしようという思いはないのですが、同年代の人たちがどう考えているのかを知りたくて参加しました。U・Iターンコンシェルジュや自治体の方々と情報交換ができてよかったです。

（小黒さん）

ー自治体から参加された加藤さんと五十嵐さんの感想を教えてください。

私たちが発信しているUターンや起業支援についての情報や、取り組んでいる施策について、首都圏の方々に届いていないものもあるということがわかりました。大変有意義でした。

（加藤さん）

新潟を離れている方々のリアルな声を聴けました。現時点ではUターンを考えていないとか、Uターンはしないかもしれないと言っていた方々も、きっかけがあれば新潟に戻ることもあり得ると考えている方が多いと分かりました。新潟に愛着を持っていただけていて嬉しいです。

（五十嵐）

ー進行をしていて感じたことはありますか?

参加者の皆さんの熱量とアイデアの数に驚きました。新潟に戻りたいと考えている人が多くて意外でした。

（飯田さん）

ー参加者の発表を拝見して、ライフイベントや大事にしている軸に着目したU・Iターン施策が必要なように感じました。

新潟に戻りたくても、仕事やライフイベントを考えると、そのタイミングが分からなかったり、帰郷を決断するために、背中を押してくれる何かや理由がほしいという方もいました。それに対し、行政で何ができるかを考えてみたいです。

（五十嵐）

ライフイベントとUターンをかけ合わせた企画を実施してみたり、軸や興味関心が同じ先輩Uターン者との接点をつくると、新潟での生活のイメージができるとおもいます。

（飯田さん）

ー『にいがた若者座談会』はあと2回開催されますが、様々な人に参加してほしいですね。

参加前にこのイベントのことをTwitterで投稿したら、知り合いから「なんで教えてくれなかったの?」と返信がありました。その人とともに、次も参加する予定です。

（小黒さん）

燕市も様々なイベントを開催していますが、私たちだけではできないことを県のイベントに参加して学びたいです。

（加藤さん）

「新潟に戻りたいと思わない」という意見の方もいると、Uターンに関する議論はより深まると思います。怖くもあり、楽しみでもありますが、それによってUターン促進策もさらに前進できるのではないかと考えています。

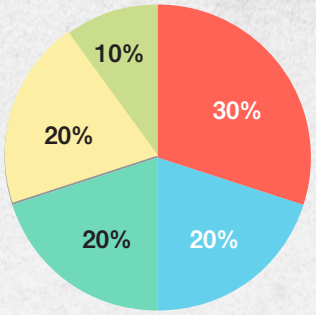
（五十嵐）

インタビュー中も、今後の展開について熱い議論が交わされました

※1 Uターン　進学・就職等で出身地を離れた人が、地元に戻ってくること。（Iターンは出身地とは異なる地域に移り住むこと。）
※2 新潟県U・Iターンコンシェルジュ　新潟県内へのU・Iターンを希望する人の転職を支援するエージェント https://www.niigata-uitc.com/

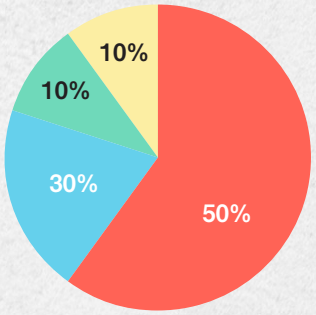
今回参加した皆さんの感想等

出身地



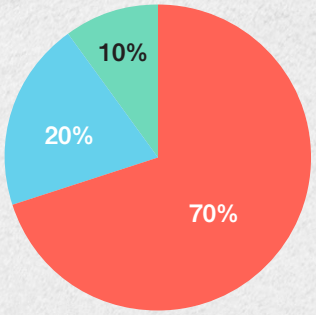
■新潟市 ■燕市 ■新発田市 ■小千谷市 ■長岡市

キックオフイベントに参加した理由



■新潟のために役に立ちたい ■知り合いから誘われた ■地方暮らしに興味があった ■移住の準備を始めたタイミングだった

今後の座談会への参加意向



■参加したい ■どちらとも言えない ■未回答

平均年齢　28.6歳

新たな『気づき』があれば教えてください

・新潟でも面白く働いている人がいる
・みんなの悩みは近しい、みんなで考えれば意外と課題解決は出来そう（解決策がありそう）
・一人一人、普段の働く環境（職種）が違うので、出てくる意見がみんな違い面白かった
・役所などに移住の窓口がないこと
・みんな新潟に帰りたいと思っている
・個人のニーズをいかに汲み取ったうえで、企業や県政などが施策をつくっていくかが鍵
・自分が知らない新潟の情報もかなりあると思った
・帰るタイミングが不安として大きい
・将来的には帰るという選択肢が多い
・新潟のPRを強化する必要がある
・今後も新潟出身東京在住の人の集まりを作ってほしい
・大きな“きっかけ”がもっとあったら帰りやすくなると思う
・「結局みんな帰りたいけど今じゃない感」を持っていることが面白いなと思った

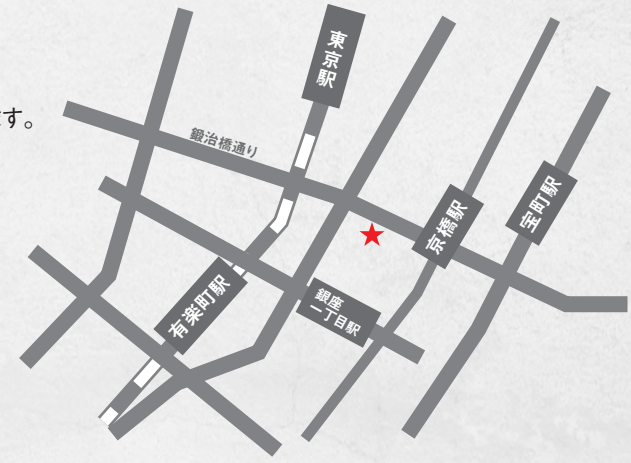
次回開催のお知らせ

「こんな新潟なら帰りたい」と若者たちが思えるような取組について
具体的に意見交換します。是非、あなたの生の声をお聞かせください。
当日は首都圏在住で新潟県出身の20～30代のみなさま、
市町村U・Iターン担当者、新潟県U・Iターンコンシェルジュ等が参加します。

日時　令和元年12月1日(日)14:00-17:00（開場 13:30）

会場　DIAGONAL RUN
〒104-0028　東京都中央区八重洲2丁目8-7 福岡ビル4F
TEL: 03-6262-7516　https://diagonal-run.jp/

JR東京駅 徒歩約9分、JR有楽町駅 徒歩約7分、東京メトロ銀座線 京橋駅 徒歩約3分
東京メトロ有楽町線 銀座1丁目駅 徒歩約4分、都営浅草線 宝町駅 徒歩約6分



参加申し込みはこちらから
https://niigatakurashi.com/38721/

主催　新潟県（県民生活・環境部新潟暮らし推進課）

今後の新潟県の移住イベント

ゲストトークや相談会で地域に出会う!
2019.12/7(土)
にいがた暮らしセミナー

新潟の魅力に触れる!
2020.1月
にいがた魅力発信セミナー

※イベントの日時・内容は変更になる場合があります

イベントの最新情報はこちらをご覧ください
QRコードで簡単アクセス

にいがた暮らし　検索